

# 『島守弁ミニ事典』DVD に収録される 南部方言に関する研究 — 形容詞のアクセント —

岩崎 真梨子<sup>†</sup>

## A study of Nanbu dialect in *Shimamori-ben Mini-Jiten* DVD — Accent of adjectives —

Mariko IWASAKI

### ABSTRACT

The accent of adjectives in the *Shimamori-ben Mini-Jiten*, published in Shimamori District, Hachinohe City, Aomori Prefecture, was described. A total of 138 adjectives are listed in *Shimamori-ben Mini-Jiten*, having mostly 4 or 5 morae. Examination of accentuation by the number of morae found many cases in which the accent rose at the end of words, and that there were differences in accents depending on whether the last sound is [i] or long sound. In particular, there are many cases in which the ending was long sound, and particularly many in which [-na:] was used. There was no significant difference from previous studies found, and it was confirmed that the dialect of the Shimamori District belongs to the Nanbu dialect.

**Key Words:** Aomori dialects, Dialect dictionary, DVD audio, Accent, Adjective

### 1. はじめに

『島守弁ミニ事典』<sup>1)</sup>は、2017年に島守地区自治会連合会より刊行された総108ページ、4章から成る冊子である。第1章に島守地区の方言が挙げられており、DVDで音声も確認することができる。岩崎(2022)<sup>2)</sup>では、『島守弁ミニ事典』に収録されている方言について、品詞分類や名詞のアクセントの記述を行った。本稿では、第1章の島守方言のなかから特に形容詞を取り上げ、アクセントの記述を試みる。

なお、本研究は、八戸工業大学で実施されている「しまもりSDGs実践プロジェクト」の一環として、『島守弁ミニ事典』の分析と活用に取り組む研究の一端である。

---

<sup>†</sup> 基礎教育研究センター・准教授

## 2. 調査対象

青森県の方言は、図1の通り大きく3区分に分かれる。島守地区は八戸市に位置しており、南部方言を使用する地域である。南部方言は、青森県南東部から岩手県中部まで広く用いられている。



図1 青森県の方言区分  
(岩崎・日比・夏坂・畑(2018)<sup>3)</sup>による)

南部方言に関する辞書類は、八戸、五戸、七戸、三沢などで刊行されているが、学術的に分析されているとは言い難い。一方、地域では方言の継承・保存活動が進められており、今後、こうした辞書類の活用法を充実させることは重要であると考えられる。

今回取り上げられている『島守弁ミニ事典』の第1章では、辞書の形をとって島守地区のことば(方言)を挙げている。内容は方言と共通語の意味、例文を挙げるシンプルな形式のものである。品詞やアクセントなどは付されていないため、今後分析をしていく余地がある。以下に、事典の一部を引用する。空白や改行の箇所は適宜整える。

### 【ア】

アー	うん	
アーカモド	同じ分家	
アグド、アグド	かかと	
アーコ、アイコ、アッコ	水	
アーセ	そうざい。おかず	
アーセドー	相手	※「アーセドー セーナア」(相手になれない)

方言、共通語の意味の順で記載される。使用例がある場合は※で記され、共通語の意味は（ ）内に示される。岩崎(2022)を改善した表を次の通り挙げる。

表 1 品詞分類—非活用語—

品詞	項目数	品詞	項目数
名詞	767	副詞	68
代名詞	1	接続詞	6
人称代名詞	1	助詞	1
指示代名詞	1	接辞	1
名詞+助詞など	8	感動詞	26
連体詞	1	助動詞	2
合計	883		

表 2 品詞分類—活用語—

品詞	項目数	品詞	項目数
動詞	336	動詞テ形	2
動詞過去	11	形容詞	115
動詞命令	9	形容詞テ形	1
動詞打ち消し	5	形容動詞	27
合計	507		

表 3 品詞分類—その他—

品詞	項目数	品詞	項目数
句	91	連体詞+助詞	1
名詞句	2	助動詞+助詞	2
名詞(※)+助詞	5	動詞テ形+助詞	1
名詞(※)+助動詞	1	不明	35
合計	136		

※指示代名詞と人称代名詞

### 3. 先行研究

南部方言の形容詞のアクセントについては上野(2019a)<sup>4)</sup>があり、その他の青森県の形容詞のアクセントに関しては上野(1991)<sup>5)</sup>で青森市方言、上野(2019b)<sup>6)</sup>で弘前方言について記述されている。また、上野(2022)<sup>7)</sup>では岩手県野田村方言の形容詞のアクセントについて記述されている。

上野(2019a)では、岩手県盛岡市八幡町、岩手県雫石町下町、青森県八戸市鮫町、青森県下北郡風間浦村の話者に対する調査結果が示されており、形容詞 170 項目のアクセントが挙げられている。

以下の通り、要旨を引用する。

無核型と語末音節に核のある型の2種類を基本とするが、5モーラ以上の単語では、それより前の位置に核をもつ例がある。

『島守弁ミニ事典』の形容詞のアクセントも、上記に大きく異なるものではなかった。細かな違いはあるが、先行研究との差異は今後検討することとし、本稿では資料DVDの結果のみを挙げる。

先行研究で特に参照した点は、「ーない」を含む語形についてである。『島守弁ミニ事典』に掲載されている形容詞は、最後の音が「イ」ではなく、長音表記「ー」になっている語のほうが多い。さらに、最後が「ナー」(例：アギナーなど)となる語(以下、「ーナー」形容詞と記す)が多い印象を受ける。語数を見ると、最後に長音がくる形容詞は102語(全体の73.9%)であり、そのなかでも特に「ーナー」形容詞は53語(全体の38.4%)である。ここでの「ナー」は「ナイ」であると考えられる。

これに関し、上野(2019a)では、以下のような記述がある。

「せわしない」に代表される、否定ではなく、形容詞の意味を強める「ーない」を含む語形は多い。「おかしい、忙しない、痛ましない、恐ろしい、(小)うるさい、騒がしい、憎たらしい、やかましない」などがそれで、紙面が限られている箇所は[ーない]で略記した。他にも、「寝苦しい、気難しい、小難しい」も言えそうな気がする。

また、上野(2022)では、田野畑方言にも「否定ではないーナイ形」が多数あることが示されている。

今回は、4モーラ語以上、特に5・6モーラ語によく出る語形成を取り上げる。「せわしい」に対する「せわしない」など、標準語にも一部はあり、一般に「意味を強める接尾辞」などと呼ばれる、否定ではない「ーない」の付く形である。これが田野畑方言には多数ある。

例として「hurus[ne: (古い。元の形は huru[si: 【本文中には「古しい」は「新しい」との対で生じた類推形とする脚注があるが、詳しくは省略する。岩崎注】、ogasi[ne: (おかしい, oga[si:), sewasi[ne: (せわしい, sewa[si:)]」などが挙げられている。

『島守弁ミニ事典』に掲載されている「ーナー」形容詞は、否定の「ない」を伴う意味で記述されている語がほとんどだが、「うるさい」や「恥ずかしい」など、否定の意味を含まない語も掲載されている。

#### (1) 否定の意味を含む形容詞の例

サラスラー (覚えがない。関係がない。知らない)、ヤレコレアナー (聞き分けがない。しつこい)、ユルグナー (厳しい労働。きつい)、コラツケナー (埒があかない)

#### (2) 否定の意味を含まない形容詞の例

スパダースナー (うるさい。せわしい)、コッパツガスナー (恥ずかしい)、コヤガマスナー (少しうるさい【コヤカマスーも挙げられている。岩崎注】)、ズツターナー (赤い)

以上のことを踏まえ、『島守弁ミニ事典』の「-ナー」は「-ナイ」であると考えている。

なお、上野氏の調査結果では、「-ない」を含む語形は「-ne」あるいは「-ne:」で表記されることが多い。上野(2019a)の調査結果を(3)(4)(5)の通り参照する。(3)は調査地点、(4)(5)はアクセントの表記である。表記のルールについて、下記の通り引用する。なお、アクセントは(3)に挙げた調査地点の順で並べられている。

表記は、「アクセント (語形)」の形式で、アクセントは昇り核の位置を、無核型は「0」、有核型は語頭から数えた数字で示す。

- (3) 岩手県盛岡市八幡町、岩手県雫石町下町、岩手県雫石町下町、青森県八戸市鮫町、青森県下北郡風間浦村
- (4) 小汚い      1(kokitanE)   1(kokitanE)   1.3.(kokitane)   1(kokitane)   3(kokitane)
- (5) 物足りない   5.3.(-tarinE)   3.5.(-tarunE)   3(-tarune)      5(-tarinai)   5(-tarinai)

ここに挙げたのはごく一部だが、八戸市鮫町や下北郡風間浦村の調査結果では、(5)のような「-ナイ」の例が見られる。このことから、南部方言では「-ネー」が「-ナイ」あるいは「-ナー」となる例が確認できるのではないかと考えている。

#### 4. 『島守弁ミニ事典』の形容詞

『島守弁ミニ事典』に収録される形容詞には次のようなものが見られる。( )内は意味を指す。

- (6) アーデクサー (相手臭い。取るに足りない)、アギナー (飽きない)、イズー・イズイ・エズー・エンズー (きゅう屈。しっくりこない。居心地が良くない。調子が悪い)

一般的な日本語の辞典では、形容詞の終止形は最後の音が「イ」になる。しかし、『島守弁ミニ事典』の場合は、長音で終わる語に形容詞的な意味が付されている場合が多く見られる。これは、(1)に挙げる通り、「-ai」が「-a:」、「-ui」が「-u:」と発音されるためである。「-ei」が「-e:」、「-oi」が「o:」となる例も見られる。このため、終止形が「-イ」であるか否かではなく、意味の項目を確認して、意味が形容詞的であると取れる語は形容詞とした。メインの項目が116語で、類義語として挙げられている方言を含めると138語となる。類義語も含めて検討する。

次に、収録されている形容詞の意味に傾向があるか、細川(1989)<sup>4)</sup>を参照して分類する。

- イ) 感情を表す形容詞      36語   例：ウダデー (恥ずかしい。申し訳ない。都合が悪い)
- ロ) 感覚を表す形容詞      9語   例：エガラッコイ (喉がづらい、喉に痰がからまる)

- ハ) 属性を表す形容詞① 53 語 例：カーナー (弱々しい)、コジャガスー (こずるい)  
 ニ) 属性を表す形容詞② 40 語 例：オッケェ (大きい)、オモダー (重い)

イ) は主に一人称視点での感情を表す。ロ) は視覚や聴覚などで捉える感覚を表す。ハ) は、人やものの性質・状態を表す形容詞のうち、人の内面に關わる属性を表している。「弱々しい」「こずるい」といった例からも明らかな通り、人に対する印象や評価を表す。ハ) に対しニ) は、人の外見やものに関する属性を表している。評価的な要素はハ) に比べて薄く、「赤い—青い—黒い」のように「色類のひとつ」や、「冷たい—温かい」「狭い—広い」「醜い—美しい」のように対義關係にある形容詞を挙げるができる。『島守弁ミニ事典』の形容詞を分類した場合、ロ)の感覚を表す形容詞の数が少なく、ハ) の人の内面に關わる属性を表す形容詞が多く収録されているといえる。

また、収録されている形容詞のモーラ数は以下の通りである。

表4 島守弁ミニ事典の形容詞のモーラ数

モーラ	語数
3 モーラ	20
4 モーラ	45
5 モーラ	41
6 モーラ	19
7 モーラ	11
8 モーラ	2
合計	138

4 モーラ、5 モーラの形容詞が多く収録されていることが分かる。

## 5. 『島守弁ミニ事典』の形容詞のアクセント

本節では、モーラ数ごとに形容詞のアクセントについて記述していく。前節に挙げた通り、『島守弁ミニ事典』に収録される形容詞のモーラは3モーラから8モーラまでである。以下、低く発音する音を○、高く発音する音を●で示す。なお、DVDは終止形で録音されているため、文中でのアクセントについては追加で調査を行う必要があるが、今後の課題としたい。

### 5.1 3モーラ形容詞

以下に示す3種のアクセントが見られた。

- (7) ○●●、○●○、○○●

以下、各アクセントの語例を挙げる。

(8) ○●●

イ[ズー、エ[ズー、カ[ラァ、コ[ワー、サ[ブー、シ[ナイ、セ[マー、ノ[ロー、ハ[ヤー、ヒ[ドー、ユ[ブー

3モーラ形容詞では、3拍目が長音の場合、2拍目で上昇する傾向があった。また、語末で僅かに下降する（イ[ズー]のように聞こえる）。なお、「シナイ」は、録音音声では「シ[ナー]」に近かった。一方、3拍目が「イ」で表記される場合は、2拍目で上昇し3拍目で下降する傾向があった。

(9) ○●○

イ[ズ]イ、カ[リ]イ、シ[グ]イ、ズ[ロ]イ、ヌ[グ]イ、メ[ゴ]イ、モ[ジョ]イ、ユ[ブ]イ

3拍目で上昇したのは以下の1語のみであった。

(10) ○○● ムサ[イ]

今回は『島守弁ミニ事典』に挙げられた語のみを対象としているため、(5)のような語が他にあるかどうか、今後の調査で明らかにしたい。

## 5.2 4モーラ形容詞

以下に示す4種のアクセントが見られた。

(11) ○●●●、○○●○、○○●●、○○○●

2拍目で上昇する語は、事典によると少数だった。

(12) ○●●● エ[ンズー、ギ[アナー、シ[ンドー

3拍目のみ上昇する語は以下の通りである。

(13) ○○●○

オッ[ケ]エ、ショッ[パ]イ、スッ[カ]イ、バツ[パ]イ、マッ[ポ]ー、メン[ゴ]イ、ヤー[コ]イ

4モーラ形容詞は、3拍目に上昇して語末にやや下がる語と、4拍目のみ上昇する語が多い。

(14) ○○●●

アギ[ナー]、エン[ズー]、サガ[スー]、ジア[ナー]、シャッ[コー]、ジヤ[ナー]、シン[ドー]、チア[ナー]、チタ[ナア]、チャッ[ケー]、チャッ[コー]、テギ[ナー]、テゴ[ワー]、デジ[ナー]、ノプ[トー]、メグ[サー]、ヤック[ドー]、ユグ[ナー]

(15) ○○○●

エゲナ[ー]、エズマ[ー]、オッカナ[ア]、オッコナ[ア]、オモダ[ー]、オンマ[イ]、オンマ[ー]、カーナ

[-、コズル[イ、スミダ[イ、セズナ[-、タンニャ[イ、イゲナ[-、ウダデ[-、ネプタ[-、ヤバツ[イ

3 モーラ形容詞で最後の拍がイの場合は中高、長音の場合は平板になる傾向があったが、4 モーラ形容詞でもイの前 (3 拍目) で上昇する傾向がある。ただし、「ショッパイ、スツカイ、バツパイ、マッポー」に関しては、2 拍目が促音である点も影響していると考えられる。こうした傾向は 5 モーラ形容詞以降にも見られる。6 節でまとめて記述する。

### 5.3 5 モーラ形容詞

以下に示す 9 種のアクセントが見られた。5 モーラ以上では、2 か所で上昇・下降が見られる語が見られるようになる。(12)に区別して挙げる。

(16) ○○○○○、○●○○○、○●●○○、○○○●○、○○○●●、○○○○●

(17) ●●○●○、●○●●○、○●○●○

以下、各アクセントの語例を挙げる。(18)は平板のアクセントである。また、形容詞は 1 語だけテ形 (連用形) の語例が見られ、平板である。

(18) ○○○○○ イダワスー、コキタナー

(19) ○○○○○ オガスケテ

語の途中で上昇と下降が見られるのは下記の語である。

(20) ○●○○○ ナ[マ]ズルー

(21) ○●●○○ ハ[デア]ナー

(22) ○○○●○

セバツ[ナイ、ヌゲケア[セル、ヌルツ[コ]イ、マツツ[ポ]イ、メゴツ[コ]イ、モジョツ[コ]イ、ユクテ[ナイ]

5 モーラ形容詞で最も多いのは、(18)の 4 拍目で上昇して語末で下がる語である。

(23) ○○○●●

オドナ[スー、カアガ[ナー、カチャペ[ナー、カラク[サー、ショース[ナー、セワス[ナー、ネバツ[コー、ノベツ[コー、ヤガマ[スー、ヤチカ[ナー、ショース[ナー、ニグツ[ラー、マツプ[スー、モドカ[スー、ラズア[ナー]

以下は、5 拍目で上昇する語である。

(24) ○○○●



アラゲナ[一、コジャガス[一、コチャゲナ[一、ミズレナ[一、ヤバツナ[一、アズマス[一

以下は、2 か所で上昇・下降が見られる語である。

- (25) ●●○●○ チビアー][イー]  
 (26) ●○●●○ ベ]ロ[ター]ス  
 (27) ○●○●○ ズ[グァ]ー[ヨー]、チ[ビア]ワ[リ]イ、メ[ゴ]グ[ナー]、ユ[ル]グ[ナー]

これらは、(20)「キビ(気味)がイイ」、(21)「ベロをタラス」、(22)「ズグがヨイ」「メゴク ナイ」「ユルク ナイ」のように、2語以上で構成された形容詞になっているか、あるいは形容詞の打ち消しの形になっているようである。

#### 5.4 6モーラ形容詞

以下に示す5種のアクセントが見られた。

- (28) ○○○○○○、○○○○●○、○○○○○●、○○○○●●  
 (29) ○●○○●●

以下、各アクセントの語例を挙げる。

- (30) ○○○○○○ コヤガマスー  
 (31) ○○○○●○ エガラッ[コ]イ、ノベラッ[コ]イ  
 (32) ○○○○○● カーナッコ[イ、コツチャゲナ[一、ハンカクサ[一  
 (33) ○○○○●●

アーデク[サー]、オソロス[ナー]、オンマグ[ナー]、コラツケ[ナー]、ズツツー[ナー]、メンズラ[スー]、ヤッキカ[ナー]、イダワス[ナー]、イダワス[ナー]、エダワス[ナー]、ヤガマス[ナー]、ヤリジレ[ナー]

「コヤガマスー」は、語末にかけて下降していく。最も多いのは5拍目で上昇して語末で下降するアクセントである。

以下は、2 か所で上昇と下降がある語である。

- (34) ツ[ラ]ツケ[ナー]

辞典での意味は「恥知らず」で、『日本方言大辞典』に挙げられている「面つけない(意味:厚かましい。無遠慮だ。不作法だ。など)」と同様であると考えられる。

#### 5.5 7モーラ形容詞

次に示す5種のアクセントが見られた。

(35) ○○○○○○、○○○○●○○、○○○○○●●

(36) ●●●○●●○、○○○●○○○

以下、各アクセントの語例を挙げる。

(37) ○○○○○○○ アラスグモナー、コヤガマスナー、テットリバヤー

(38) ○○○○●○○ ヤレコ[レア]ナー、テツケド[ゴア]ナー、ヤセコ[セア]ナー

(39) ○○○○○●● サラースラ[ナー]、トペカペア[ナー]、モースワゲア[ナー]

(34)(35)は2か所で上昇・下降す語である。

(40) ●●●○●●○ スパダー][スナー]

(41) ○○○●○○○ アジス[メア][ナー]

7モーラの形容詞はアクセントの傾向に偏りがないようである。

### 5.6 8モーラ形容詞

以下の2語である。

(42) ○○○○○○●● コッパツガス[ナー]、ロクタマスグ[ナー]

形容詞のアクセントのなかで最も多い「-[ナー]」の形である。

## 6. まとめ

5節で見てきたアクセントを、2か所で上昇・下降する語を除いてまとめると表5のようになる。上昇した拍に基づいて分類し、語例が見られなかった箇所については空欄とする。

表5 『島守弁ミニ事典』の形容詞のアクセントの種類1

モーラ数	アクセントの種類			
3モーラ		○●●	○●○	
4モーラ		○●●●	○●○○	
5モーラ	○○○○○		○●○○○	○●●○○
6モーラ	○○○○○○			
7モーラ	○○○○○○○			
8モーラ				

表6 『島守弁ミニ事典』の形容詞のアクセントの種類2

モーラ数	アクセントの種類			
3モーラ				○○●
4モーラ	○○●○		○○●●	○○○●
5モーラ	○○○●○		○○○●●	○○○○●
6モーラ	○○○○●○		○○○○●●	○○○○○●
7モーラ		○○○○○●○○	○○○○○●●	
8モーラ			○○○○○○○●●	

表5は「語の前半で上昇する」パターンで、表6は「語の末寄りで上昇する」パターンである。まず、「語の前半で上昇する」パターンから見ていく。無核で平板なアクセントならびに2拍目から上昇するアクセントが相補的な形で3～4モーラと5～7モーラに現れている。

「語の末寄りで上昇する」パターンは、モーラ数最後の拍の手前のみ上昇するパターン（例：○○●○）のようなものは4モーラから6モーラまで見られる。また、後ろ2拍が上昇するパターン（例：○○●●）は4モーラから8モーラまで5種あり、最も多く見られた。最後の拍のみが上昇するパターン（例：○○○●）も3モーラから6モーラまで4種見られ、語末から2拍分上昇するパターンに次いで多い。以上のことから、島守地区の形容詞（終止形）は、語の後ろ寄りで上昇するものが多いと考えられる。

以上の結果は、3節で挙げた上野(2019a)と大きく異ならないと考える。

続いて、モーラ数ごとにアクセントの傾向があるかどうかを見ていく。

5.1節で示した通り、3モーラ形容詞の場合は「イ」で終わるものが「○○●○」と中高のアクセントの傾向があり、長音で終わるものは「○○●」と尾高のアクセントの傾向がある。

4モーラ以上の形容詞は、「イ」で終わる形容詞はイの直前の拍で上昇し、長音で終わる形容詞は最後から2拍目で上昇し、語末にかけてやや下がる傾向がある。

また、「ーナー」形容詞は、長音で終わる形容詞と同様のため、最後から2拍目で上昇し、語末にかけてやや下がるものが半数以上である。アクセントのパターンと語数は以下の通りである。

- (43) ○○●●   ○○○●●   ○○○○●●   ○○○○○●●   ○○○○○○●●   27語  
 ○○●   ○○○●   ○○○○●   ○○○○○●   ○○○○○○●   11語  
 ○○○   ○○○○   ○○○○○   ○○○○○○○   5語  
 ○○○○●○   2語  
 ○●●○○   1語

(44) 2か所で上昇・下降する語

スパダースナー、ユルグナー、ハータダナー、メゴグナー、ラズァナー、アジスメァナー、ツラツケナー   7語

以上のことから、『島守弁ミニ事典』に掲載されている形容詞は、語の後ろ寄りで上昇する傾向を持ち、特に最後が長音や「ナー」で終わる形容詞にその傾向が強い。

また、最後が「イ」となる形容詞は、3 モーラ以上の場合、「ーッ[コ]イ」や「ーッ[パイ]」のような形になるものが多いようだった。一方、最後が長音になる場合は、(14)「シャッ[コー]」や(23)「ネバッ[コー]」「ノベッ[コー]」などが見られ、「イ」と長音とでアクセントのパターンが異なっていた。

## 7. おわりに

以上の通り、『島守弁ミニ事典』の形容詞ならびにそのアクセントについて示した。

主な特徴としては、語の末寄りで上昇する例が多いことや、最後の音が「イ」か長音かでアクセントの違いが見られることがある。特に、最後が長音、そのなかでも特に「-[ナー]」となるものが多かった。先行研究との大きな違いは見られず、島守地区の方言が南部方言に位置づけられるということが確認できた。

この結果は「しまもり SDGs 実践プロジェクト」の成果のひとつとして、今後ホームページなどで公開していきたい。地域の方言や文化を記録していくことは今後とも重要であると考えます。

## 謝 辞

本研究は、八戸工業大学「しまもり SDGs 実践 プロジェクト」の助成を受けています。

*We would like to thank Editage (www.editage.com) for English language editing*

## 参考文献

- 1) 中村悟志：島守弁ミニ事典，島守地区自治会連合会 会長 堰端治, 2017.
- 2) 岩崎真梨子：『島守弁ミニ事典』DVD に収録される南部方言に関する研究 ―名詞のアクセント―，八戸工業大学紀要 第 41 巻，2022.
- 3) 岩崎真梨子，夏坂光男，日比俊介，畑文子：八戸市の若者の「気づかない方言」と言語活動，八戸工業大学紀要 第 37 巻，2018.
- 4) 上野善道：南部方言の形容詞のアクセント, 国語研究 82, 2019a.
- 5) 上野善道：青森市方言の形容詞のアクセント，アジア・アフリカ文法研究 19, 1991.
- 6) 上野善道：津軽方言の形容詞のアクセント，ことばとくらし 31, 2019b.
- 7) 上野善道：岩手県田野畑村方言の用言アクセント資料 (4) 形容詞 (2)，国立国語研究所論集 23, 2022.

## 要 旨

青森県八戸市に位置する島守地区で刊行された『島守弁ミニ事典』について、形容詞のアクセントに関する記述を行った。『島守弁ミニ事典』には、形容詞が 138 語掲載されている。モーラ数は、4 モーラと 5 モーラのものが多かった。モーラ数ごとにアクセントを見ていくと、語の末寄りで上昇する例が多いことや、最後の音が「イ」か長音かでアクセントの違いがあるといった特徴が明らかになった。特に、最後が長音、そのなかでも特に「-[ナー]」となるものが多かった。先行研究との大きな違いは見られず、島守地区の方言が南部方言に位置づけられるということが確認できた。

**キーワード**：青森県南部方言，方言辞典，DVD 音声，アクセント，形容詞